

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01		
施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成9年 3,600,000	0	0	3,600,000
	増改築① 増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成10年5月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	11人	0人
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積			2723.96m ²	m ²
	延床面積			2584.59m ²	m ²
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（あらかわ学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）					
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）				
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
	観覧者数（有料）（人）	3,192	2,914	2,539	3,086	2,250
	観覧者数（無料）（人）	12,338	15,441	14,498	14,409	11,250
	観覧者合計（人）	15,530	18,355	17,037	17,495	13,500
	郷土学習室利用者（人）	3,555	-	-	-	-
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	-	20,059	19,897	20,085	15,700
	視聴覚室（件）	14	9	12	13	8
	研修室（件）	22	24	21	29	20
	開館日数（日）	298	289	286	259	220
に指定 等管理 費用						
備考	郷土学習室を平成28年度末でリニューアルし、あらかわ伝統工芸ギャラリーを平成29年度5月に開設した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日より休館。令和2年6月よりギャラリー展示等から段階的に再開し、7月より常設展示を再開した。					

III 財務諸表

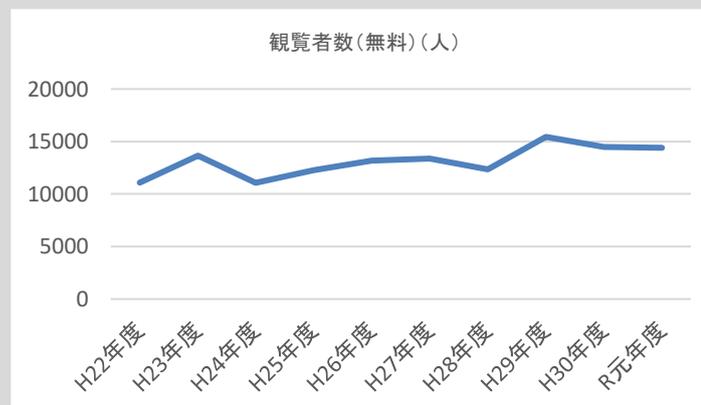
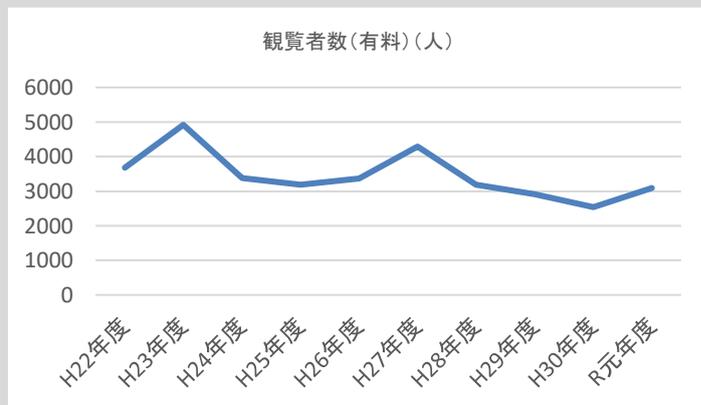
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	53,228	53,182	▲ 46	地方税等	0	0	0
	物件費	64,467	71,007	6,540	国庫支出金	1,000	1,000	0
	維持補修費	1,870	38,006	36,136	都支出金	1,287	5,388	4,101
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	20,557	16,254	▲ 4,303	使用料及び手数料	311	374	63
	減価償却費	40,228	40,228	0	その他	380	426	46
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,978	7,188	4,210
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,300	2,265	▲ 35	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 179,672	▲ 213,754	▲ 34,082
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	182,650	220,942	38,292	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 179,672	▲ 213,754	▲ 34,082
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	1,912	1,912
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	1,912	1,912	当期収支差額(e)+(h)	▲ 179,672	▲ 211,842	▲ 32,170	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,300	2,265	▲ 35
	有形固定資産	645,141	607,686	▲ 37,455	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	18,563	17,610	▲ 953
	建物	1,489,932	1,492,706	2,774	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 844,791	▲ 885,020	▲ 40,229	退職給与引当金	18,563	17,610	▲ 953
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	20,863	19,875	▲ 988
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	855,798	824,417	▲ 31,381
建設仮勘定	2,734	2,734	0	正味財産の部合計	855,798	824,417	▲ 31,381	
その他の固定資産	228,786	233,872	5,086	負債及び正味財産の部合計	876,661	844,292	▲ 32,369	
資産の部合計	876,661	844,292	▲ 32,369					
備考	行政費用では物件費が多くかかっている。物件費のうち、大部分を占めるのは施設管理に係る委託料である。また、あらかわ遊園煉瓦塀補強工事委託により、維持補修費が30年度と比べ36,136千円の増となった。行政収入では国庫支出金、都支出金の他、使用料及び手数料としてふるさと文化館入館料等、その他収入として有償頒布物代金がある。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	51	54.0	57	59.3	
	1㎡当たりコスト(円)	71,570	66,414	70,670	85,484	
	来館者1人当たりコスト(円)	11,911	8,079	9,180	11,000	
	開館一日当たりコスト(円)	619,543	593,955	638,650	853,058	
備考	前年度と比較して全体的にコストが増加しているが、これは行政費用の維持補修費が増加したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	観覧者数(人)	目標値 -	目標値 -	目標値 -	20,000	13,500
	実績値	17,657	18,355	17,037	17,495	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○経年劣化により建物全体の修繕箇所が増えてきており、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に修繕を行っていく必要がある。 ○あらかわ伝統工芸ギャラリーや奥の細道コーナーの整備を契機に、さらなる施設来館者及び事業参加者数の増加に向けた事業や周知策を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○併設の南千住図書館と協力し、施設全体のリニューアルを含め計画的に事業の運営・修繕等を行っていく。 ○あらかわ伝統工芸ギャラリーや奥の細道に関する事業のPRを強化し、荒川区の伝統文化の魅力を区内外に広く発信し、施設来館者や事業参加者の増加につなげていく。					
議会、利用者等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度2月会議 荒川ふるさと文化館のあり方について 平成28年2月予特、9月決特 ふるさと文化館の名称変更等について 平成29年2月決特 伝統工芸ギャラリーについて 平成29年9月決特 ふるさと文化館の名称変更、施設の位置付け等について 					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-02		
施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和45年			
	増改築①	平成8年	303,300		
増改築②					
併設施設	教育センター				
竣工年月日	昭和45年		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成9年		職員数	15	7
構造	RC造		階層	4階	
面積	敷地面積	6,766.09m ² m ²			
	延床面積	2,970.35m ² (4530.36m ² のうち) m ²			
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局教育センター課、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)読売・日本テレビ文化センター	期間	平成30年度 令和4年度	から まで	
事業内容	区民カレッジ、サークル活動の支援、学習活動の相談、生涯学習情報提供、IT学習・専修学校公開講座					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	利用者数(人)	156,441	137,572	134,378	138,950	97,000
	利用件数(件)	7,283	7,517	7,351	7,124	5,000
	区民カレッジ講座数	61	66	76	74	58
	区民カレッジ受講者数	3,688	4,053	4,046	3,226	2,700
	IT講習会参加者数	754	776	938	731	600
	IT自習室参加者数	1,971	774	637	966	700
	貸室稼働率	64	66	65	63	54
に指定管理に係る費用	指定管理料(千円)	60,819	61,739	66,734	67,472	68,742
	指定管理者の支出合計(千円)	62,932	63,743	63,436	62,614	68,608
	指定管理者の人員費(千円)	19,903	19,902	18,947	19,351	21,330
	指定管理者の利用料金収入(千円)	1,996	2,088	1,996	1,988	1,012
備考	平成29年度 PCの入れ替えのため、4月のIT自習室実施なし。また、実施回数を変更し、隔日実施とした。					

III 財務諸表

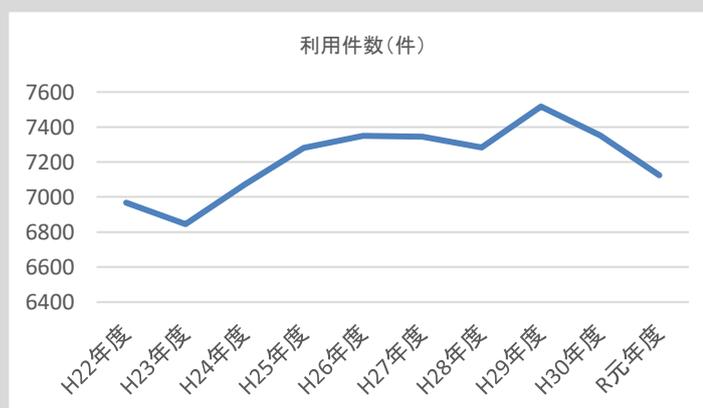
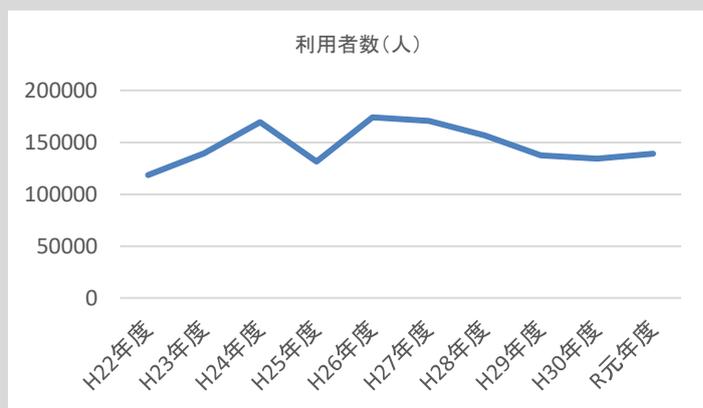
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0
	物件費	70,514	71,238	724		国庫支出金	0	0	
	維持補修費	2,257	459	▲ 1,798		都支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	補助費等	48	48	0		使用料及び手数料	0	0	
	減価償却費	0	0	0		その他	445	4,041	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	445	4,041	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 72,374	▲ 68,837	
	その他行政費用	0	1,133	1,133		金融収支差額(d)	0	0	
	行政費用合計(b)	72,819	72,878	59		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 72,374	▲ 68,837	
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 72,374	▲ 68,837	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	3,232	3,232
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0
	固定資産	有形固定資産	35,226	35,226	0		賞与引当金	0	0
		土地	35,226	35,226	0		その他の流動負債	0	3,232
		建物	170,717	170,717	0	固定負債	0	11,042	11,042
		建物減価償却累計額	▲ 170,717	▲ 170,717	0		特別区債	0	0
		工作物等	17,800	17,800	0		退職給与引当金	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 17,800	▲ 17,800	0		その他の固定負債	0	11,042
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	0	14,274	
	建設仮勘定	0	2,639	2,639	正味財産	39,476	44,000	4,524	
	その他の固定資産	4,250	20,409	16,159	正味財産の部合計	39,476	44,000	4,524	
資産の部合計	39,476	58,274	18,798	負債及び正味財産の部合計	39,476	58,274	18,798		
備考	行政費用では、指定管理料57,911千円を含む、物件費が多くかかっている。また、令和元年度はビニールカーテン設置等に395千円、維持補修費がかかっており、塀改修工事設計業務委託に1,133千円、その他行政費用がかかっている。その他収入では4,041千円、指定管理料の返納金、光熱水費の収入がある。								

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	14,578	14,950	16,074	16,087	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	32	31	30	30.9	
	開館1日当たりコスト(円)	185,520	190,247	204,548	204,713	
	利用者1人当たりコスト(円)	422	492	542	524	
	区民1人当たりコスト(円)	310	316	339	340	
	受益者負担比率(%)	3	3.0	3	2.9	
備考	1㎡当たりコスト、開館1日当たりコスト共に上昇しており、建物や設備の老朽化による維持管理コストの増加傾向がみられる。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用件数	目標値 7,300	7,500	7,500	7,500	6,000
		実績値 7,283	7,517	7,351	7,124	5,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。					
現状・課題	○利用者アンケート等を踏まえて、一層の事業の充実や利用者サービスの向上を図る必要がある。 ○施設・設備の老朽化が進んでおり、生涯学習推進計画施策の柱1「学びの基盤を整備・拡充する」や、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に改修工事や修繕を行っていく必要がある。 ○IT講習会において、受講者数の少なくなってきた講座の扱いについて検討する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者に対して、積極的な声掛けを行い、利用者の側に立ったサービスの質を高める。 ○区民カレッジについて、参加者アンケートを参考にしながら、俳句などの荒川区ならではの講座を行う等、さらに内容の充実を図る。 ○利用者アンケートで特に要望が多いトイレ改修については計画的に3箇所を洋式化したところであり、今後も引き続き改修を進め、安全で快適な利用環境を整える。 ○IT講習会など、受講者数の少なくなってきた講座は組み替えての募集を試みる。					
議会、利用者等からの意見	<議会> ・平成25年度 予特「多目的広場の大人の利用について」 ・平成28年度 予特、平成29年度 11月会議、平成30年度 9,11月会議「体育館への空調設置について」 ・令和元年度 決特「コンピューター室におけるPCの性能について」					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和63年			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和63年9月30日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和63年11月1日	職員数	6		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階層	3階		
面積	敷地面積	4,137.28 m ²			
	延床面積	2,400 m ²			
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、年3回の保守点検日				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
	貸室利用者数（人）	178,995	182,093	174,283	158,924	122,000
	貸室ホール稼働率（%）	76	75	76	69	75
	カルチャー講座数（講座）	659	689	689	654	550
	カルチャー講座受講者数（人）	4,388	4,388	4,069	3,879	3,400
	指定管理料（千円）	24,257	24,192	24,627	25,116	31,269
に指定 に係る 管理 費	指定管理者の支出合計（千円）	36,886	37,151	38,342	37,054	41,904
	指定管理者の人件費（千円）	3,738	3,695	3,435	3,659	4,338
	指定管理者の利用料金収入（千円）	13,928	13,599	13,410	13,025	10,635
備考						

III 財務諸表

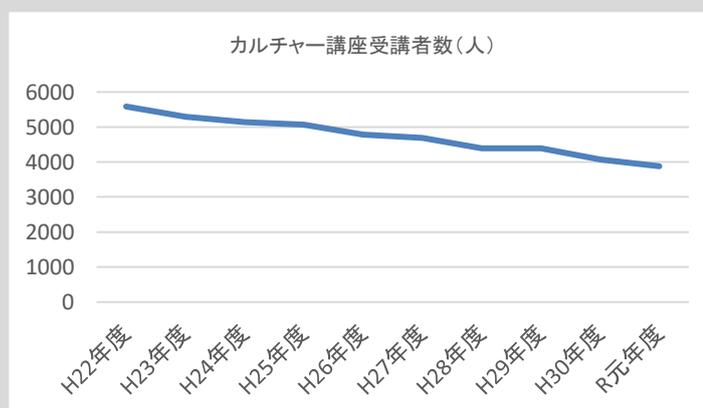
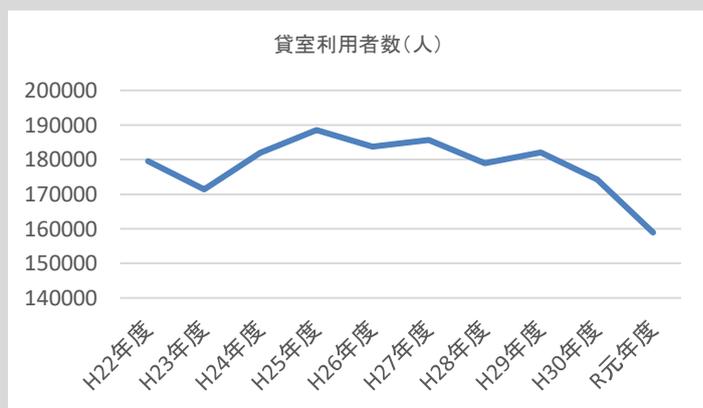
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	24,638	26,075	1,437	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	1,452	0	▲ 1,452	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	15,068	15,068	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	18,096	18,096	0	その他	960	1,236	276
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	960	1,236	276
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 58,294	▲ 58,003	291
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	59,254	59,239	▲ 15	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 58,294	▲ 58,003	291
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 58,294	▲ 58,003	291	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	785,247	767,152	▲ 18,095	その他の流動負債	0	0	0
	土地	657,907	657,907	0	固定負債	0	0	0
	建物	670,212	670,212	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 542,872	▲ 560,967	▲ 18,095	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	785,247	767,152	▲ 18,095
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	785,247	767,152	▲ 18,095	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	785,247	767,152	▲ 18,095	
資産の部合計	785,247	767,152	▲ 18,095					
備考	行政費用では、指定管理料25,116千円を含む物件費が多くかかっている。また、イーストヒル町屋管理組合に支払う管理・修繕費として、補助費等が15,068千円かかっている。行政収入では、指定管理料の返納金及び使用許可団体からの光熱水費受け入れがあり、1,236千円の収入があった。							

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	76	78	81.0	83.7	
	1㎡当たりコスト(円)	24,144	23,939	24,689	24,683	
	人にかかるコストの割合(%)	10	10	9	10	
	開館1日当たりコスト(円)	16,277	16,138	16,644	16,640	
	利用者1人当たりコスト(円)	324	316	340	373	
	区民1人当たりコスト(円)	272	268	276	276	
	受益者負担比率(%)	20	19	19.0	18.3	
備考	令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大による利用者の減少により、利用者一人当たりのコスト等が増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用者数(人)	目標値 180,000	180,000	180,000	180,000	122,000
		実績値 178,995	182,093	174,283	158,924	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成18年度～ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から32年を経過する施設であるため、設備や備品の老朽化が進んでいる。内装改修を中心としたリニューアルを予定しているが、空調や給排水等の設備を含めた計画的な大規模修繕等を進める必要がある。 ○リニューアル後の利用者の増加に向けた取組みとともに、コロナ後を見据えた施設のサービスについても検討する。					
課題に対する現時点での考え	○更なる利用拡大とイメージの刷新を図るために、利用団体の声を踏まえたリニューアル改修を行うほか、荒川区公共施設等総合管理計画に基づいた老朽化対策を順次進めて、利用者にとって安全で快適な施設を提供する。 ○施設利用者アンケートやカルチャー講座の受講者アンケートからニーズを把握し、指定管理者と協議を重ねながら、講座等の充実を図り、利用者の増加につなげていく。					
議会、利用者等からの意見	平成30年度決特 町屋文化センターのリニューアルについて 平成30年度11月会議 町屋文化センターの改修について 平成30年度2月会議 町屋文化センターのリニューアル状況の検討について 令和元年度決特 町屋文化センターリニューアルの進捗状況について					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-04		
施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和58年 810,551	199,563	0	610,988
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和58年4月15日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月15日		職員数	7人・2人	
構造	RC造		階層	2階	
面積	敷地面積			32,322m ²	m ²
	延床面積			3,999.96m ²	m ²
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署	指導室、学務課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況	約20台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input checked="" type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)旺栄	期間	平成30年度 令和4年度	から まで
------	------	-------	----	-----------------	----------

事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等				
------	---	--	--	--	--

対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学する者				
-----	--------------------------	--	--	--	--

運営時間等	運営時間	-			
	休日	寒冷地にあるため、11月上旬～4月下旬は閉鎖であったが、利用促進のため平成31年度より冬季営業開始。令和3年度より通年営業予定。			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
	一般利用者 (人)		1,657	2,170	2,546	3,046
学校利用者 (人)		5,467	5,396	5,516	5,720	0
合計 (人)		7,124	7,566	8,062	8,766	513
施設稼働率 (%)		30	31	37	35	33
開所日数		189	191	187	260	222
に指定 用係等 管理 費	指定管理料 (千円)	55,826	56,093	56,784	57,091	60,080
	指定管理者の支出合計 (千円)	69,282	77,015	89,252	85,531	88,693
	指定管理者の人件費 (千円)	16,028	19,116	21,735	23,339	22,185
	指定管理者の利用料金収入 (千円)	18,824	19,083	21,611	22,512	24,361

備考 学校利用が平成26～28年度にかけて大きく減少しているのは、夏季に教育委員会で実施していた「清里高原学園」が、平成27年度から実施校減少、平成28年度から休止となったためである。なお、一般利用については、区内団体への積極的なPRや指定管理者の自主事業の実施等により、集客努力を図った結果、増加傾向にある。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	101,537	98,799	▲ 2,738	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	8,314	0	▲ 8,314	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	128	160	32	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	23,400	31,044	7,644	その他	4,995	5,023	28
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,995	5,023	28
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 128,384	▲ 124,980	3,404
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	133,379	130,003	▲ 3,376	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 128,384	▲ 124,980	3,404
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 128,384	▲ 124,980	3,404
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	146,554	117,992	▲ 28,562	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	964,287	964,287	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 817,733	▲ 846,295	▲ 28,562	特別区債	0	0	0
	工作物等	94,259	94,259	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 94,259	▲ 94,259	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	154,385	123,342	▲ 31,043	
その他の固定資産	7,831	5,350	▲ 2,481	正味財産の部合計	154,385	123,342	▲ 31,043	
資産の部合計	154,385	123,342	▲ 31,043	負債及び正味財産の部合計	154,385	123,342	▲ 31,043	

備考 行政費用では、指定管理者委託料57,091千円を含む物件費が多くかかっている。行政収入としては、参加者の賄費等として5,023千円がある。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率	93	95	86	88.9	
	1㎡当たりコスト(円)	24,308	34,626	33,345	32,501	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	23	25	24	27.3	
	開所1日当たりコスト(円)	514,450	725,136	713,257	500,012	
	利用者1人当たりコスト(円)	13,648	18,306	16,544	14,830	
	受益者負担比率(%)	17.0	13	13.0	14.2	
備考	令和元年度は、外部に委託している清掃の人数や頻度を減らすなど指定管理者の努力もあり、平成30年度と比較して指定管理者の支出合計が減少した。一方、自主事業における新たな取り組みなどにより利用料金収入は増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	一般利用者数(人)	目標値 -	目標値 -	2,300	2,700	2,014
	実績値	1,657	2,170	2,546	3,046	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 委託から指定管理へ) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から36年が経過し、設備や備品、また施設自体の老朽化が進んでおり、計画的な修繕や備品の更新が必要である。 ○令和2年度の冬季の施設開設について、令和元年度の冬季の実施状況を検討し、さらなる利用者数の増加に努める。 ○夏期学園休止に伴い、平成27年度以降は学校利用者が減少しており、一般利用や団体利用の新規獲得策を講じる必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、順次、大規模改修や老朽化した設備の修繕や備品の更新を図る必要がある。 ○指定管理者が提案する自主事業を取り入れるなどして、利用者数の増加を図る。 ○施設の魅力を積極的にPRするとともに、天体観測やダム見学など、清里周辺の環境を活かした自主事業を充実することにより、一般利用や団体利用の促進を図る。					
議会、利用者等からの意見	○平成27年度6月会議 トイレの洋式化について ○平成29年2月予特 施設を活用した高地トレーニング等の提案について ○平成30年2月予特 自然体験や文化芸術の合宿等での活用について ○平成31年2月決特 冬季開設について					

